

私達は、この度、長年の研究の蓄積を『図書の修理とらの巻』という本にまとめ刊行すべく、その資金を得るために、2017年1月27日～3月8日迄、クラウドファンディングに挑戦しました。

その結果、111名の方が総額¥1,022,000の支援をしてくださいました。

まずは皆様方に心よりお礼を申し上げます。

この成功は、力強く、そして適切なアドバイスをしながら一緒に走って下さった株式会社 READYFOR 様の担当の方のおかげでもあります。



私達はNPO法人として発足以来、常に資金面での困難を抱えてきました。活動のアイデアはあってもいわゆる先立つものが乏しい状態で、細々と今日まで来ています。助成金も何度か挑戦しましたが、(現在までに奈良県より2回授与) 書物修復という分野は、「文化」「アート」などのカテゴリに入りやすく申請も難しい状況でした。このような事情から、新しい寄付システムとしての「クラウドファンディング」に注目し、今回採用させて頂きました。

クラウドファンディングはわが国ではまだまだなじみの薄いシステムで、「クラウドファンディングって何？」という人から、「最先端ですね！」と云ってくださる方まで、世間の知名度は様々です。その特徴は、資金集めだけではなく、私達の活動を知ってもらい、賛同してもらうための仕組みとして、IT時代ならではの仕組みと云えます。テレビコマーシャルを流せるような大企業はともかくとして、財政基盤の小さなNPOが広報する手段としてはピッタリだと言えます。又プロジェクトに成功すると、READYFORのサイト上に記事が掲載されたまま残りますので、無料の広告を掲載して頂けるともいえます。

今回は初めての経験でしたが、プロジェクトが進んでいくうちに、色々なことを学ぶことが出来ました。計画と目標のわかりやすさや十分な説明の必要性に加え、明るい画像なども影響することが分かりました。また、自分が他の方のプロジェクトを見て、どんな計画に賛同するのか、応援したいという気持ちになるのか、又どのようなリターン(返礼品)に魅力を感じるのかなど、外からの視点についてです。

NPO法人とはどのようにあるべきなのか、を模索しながら活動を続けてきたこの十数年は、どのように活動資金を得るかという問題と深くかかわります。その意味においても、クラウドファンディングは今後の私たちの活動と大いに関連すると思われる。今回の経験を通じて、どんな良い活動も、皆さんに知っていただくための努力をすることが必要だとつくづく感じました。



先日、READYFOR様の主催により、3月にプロジェクト目標額を達成した方々の集まりがあり、参加しました。実際の達成件数は百数十件に及びますが、遠方ということもあり、十数件のプロジェクトの実行者の方々が参加されました。どの方も、ユニークな活動をパワフルに展開されており、圧倒されました。硬直した古いシステムにがんじがらめになって、本当に役立つ活動がとてもしにくいこの国にあって、一人一人が自分たちのプロジェクトを力強く展開していくためのクラウドファンディングというシステムは、単に資金集めだけでなく、人的ネットワークの構築にも有効な手段です。今後はこのシステムの恩恵を受けながら、どんどん活動を広げていきたいと胸を膨らませています。

株式会社 READYFOR 様<<https://readyfor.jp/>>には心より感謝を申し上げます。

平成29年4月21日